

必要なのは、  
正解を出す人よりも、  
問いを分かち合える大人。

こども・わかものを支える  
スキルとマインドを身につける

わかもののみちづくりと  
サードプレイスを考える

2026年 **3/8** (日) 13:30~16:00

参加費無料

会場 東海村産業・情報プラザアイヴィル  
(301・302会議室)

講師 土肥 潤也 氏  
(NPO法人わかもののみち 代表理事)

主催：東海村総合戦略部地域戦略課

# Message

## 東海村の想い

茨城県東海村では、「東海村わかもの会議」を通じて、多くの若者たちが村の未来を語り始めています。次に私たちが形にしたいのは、若者たちがありのままの自分でいられる「居場所」です。建物があるだけでは「居場所」にはなりません。そこに必要なのは、若者の「やりたい」を信じ、フラットに寄り添える大人の存在です。この講座では、多世代が混ざり合い、これからの東海村に必要な「支え手のカタチ」を共に学びます。

## 講師プロフィール

土肥 潤也 (どひ じゅんや)

NPO法人わかもののみち 代表理事 / 社会起業家 1995年静岡県生まれ。早稲田大学大学院修了。こども家庭庁 こども家庭審議会の委員等も務める。東海村のこども・わかもの政策にも深く携わり、現場と政策の両面から若者支援のアップデートを続けている。



# Facilitator

## 当日のプログラム

# Program

13:30	オープニング	趣旨説明・多世代交流アイスブレイク
13:50	話題提供	「若者の参画とサードプレイスの必要性」
14:30	ワークショップ	「居場所を支えるファシリテーション」 <input checked="" type="checkbox"/> 若者の“やりたい”を引き出す問いかけとは? <input checked="" type="checkbox"/> ケーススタディ(現場での困りごと解決ワーク)
15:30	振り返り・共有	明日から始める一歩の宣言
16:00	終了	終了

## 募集要項

- 定員: 30名(先着順)
- 対象: 地域の居場所づくりに関心のある大人、子ども・若者のチャレンジに携わりたい大学生・専門学生



お申し込みはこちらから  
(Googleフォームが開きます)

# Guidelines